／みるべぇ～／

地域おこし協力隊 6

10月12日「第六回菊名ウォータープラザまつり」に「道の駅どうし」が出展し、その販売の応援に行きました。

開催場所はJR横浜線と東急東横線が交差する菊名にあります。横浜市水道局の北部方面の庁舎ですが、中には水まわり相談コーナーなども併設し、市民に開かれた施設となっていました。

本イベントはウォータープラザの事業紹介と共に防災についても大きなテーマとして、民間・NPO・行政機関等と協力して開催され、この日は17団体が出展していました。

せせらぎに再現された「的様」（上）
菊名ウォータープラザ前のせせらぎの説明（下）

お漬物や酒まんじゅう、道志ポークの串焼きなど15種類の商品をブースで販売しました。

水道局の局員の方から「道志村に足を向けて眠れない」「昨年『七里みそ』を買ったので今年も買うよ」「役場の○○さんとは一緒に仕事をしたことがある」など、親しく声をかけて頂きました。前日に精米し、当日急きょ持って行った「どうし米」が完売できたのは、水道局の方々のご協力のお陰でした。

庁舎の前には道志川と「的様」をイメージしたせせらぎがあり、改めて道志村と横浜市の絆の深さを感じさせられました。（千々輪岳史）

最近は道志の厳しい寒さを体で感じる毎日です。10月は道の駅のイベント出店のお手伝いをさせていただく機会が多く、横浜や明治大学などで道志の商品を販売してきました。イベントでは道志村のことをご存じのお客様も多くいて、道志村の高い知名度を改めて知らされました。また、イベント出店を通して商品をお客様に販売する難しさを痛感しました。11月はD-1グランプリに出店するので、この経験を活かして積極的に販売したいと思います。（井口陽介）

みなさん、ロケットストーブをご存知でしょうか？ ペール缶や煙突などを数点組み合わせるだけで出来る、簡易かまどです。木の駅で開催したイベントで、このストーブを作成しました。

このストーブが予想以上に面白い！ 材料費は約3000円、基本的な道具が揃えば30分以内で制作可能、シンプルな構造で薪が少なくても良く燃える、軽いのでどこにでも移動できる！ このストーブについて、また報告します。（大野航輔）

新しく【しょうゆ搾り機】を製作しました！

以前から村で使われていた搾り機はかなり古くなっていました。そこで今後もしょうゆ搾りを続けていくためにも新しく搾り機を製作することにしました。木工職人の方にご協力いただきながら、なんとか2週間ほどで完成に至りました。今後、このしょうゆ搾り機は村内での貸し出しを予定しています！ お問い合わせは地域おこし協力隊の中嶌拓哉までお願いします！（中嶌拓哉）

10月17日、東京都墨田区にある、皮なめし工場へ見学に行ってきました。工場では食肉用の豚の皮を主に扱っていますが、捕獲されたシカやイノシシの皮も全国から受け入れています。

これは「MATAGI（マタギ）プロジェクト」という取り組みで、農山村で問題となっているシカやイノシシの、皮を有効利用し、革製品とすることで、地域の活性化を目指すものです。道志でもシカの皮を利用した取り組みができないか、考えています。（香西恵）